

目標達成計画

作成日: 平成 29年 2月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 10 | 家族には、くつろぎ便りや福祉ネットニュースを送付したり、ホームの出来事を掲載したブログを見てもらっているが、利用者の様子を詳細に知りたいご家族もあり、要望に添えないところもある。 | 利用者の様子を随時知りたいと要望されるご家族には、ホームの出来事や連絡に電子メールを取り入れ、より密に連携を図るよう努める。 | 電子メールを希望されるか家族に伺い、了解が得られた家族に生活の様子やお知らせを随時送付し、安心して頂けるようにする。 | 2ヶ月 |
| 2 | 20 | 入所時に本人家族より生活歴等の聞き取りを行い、なじみの関係が途切れないよう支援しているが、日常生活の場面で昔懐かしい物や写真等を取り入れた活動が不足している。 | 昔の映像やアルバム、写真を活用する等の回想法をすることにより、活気のある生活を過ごし認知症の進行を遅らせるような支援に努める。 | ご家族の写真、昔の記憶をよみがえらせるような品物や回想法を意識したコミュニケーションを取り入れ精神的な安定を図り、認知症予防の効果を意識した働きかけを支援に取り入れる。 | 3ヶ月 |
| 3 | 23 | 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めているが、利用者が生きがいや目標をもって暮らしていけるような関わりが十分でない。 | 利用者の思いや意向から生きがいや楽しみを引き出すようなコミュニケーションや関わりに努め、利用者が目標をもち暮らしていけるよう支援する。 | 些細なことでも利用者本人が役に立っていると思える役割や目標が見い出せるような関わり方を意識しながら支援に努める。 | 3ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。